

授業科目 生活援助技術 VI

【担当教員名】 岡田 史		対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）	
		開講時期	後期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	○	○	○	◎		
【概要・一般目標：G10】						
<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けた睡眠の意義と目的を理解し、安眠のための介護の工夫を身に付ける。 ・尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を個々の感性、人間観、共感を土台に考えを深め、より倫理性高い介護観を構築し、技術に習熟し専門職としての介護能力を身に付ける。 						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> 1 睡眠の意義と目的を理解し、安眠のための介護の工夫を実践できる。 2 「生」と「死」の意義について考えることができる。 3 「死」を生物学的変化について理解できる。 4 倫理的に「死」を考えることができる。 5 「死」を社会背景、社会関係、人間関係の中で捉えることができる。 6 「終末期」の支援に敬意と誠意をもって臨むことができる。 						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	睡眠の意義と目的					
2	睡眠に関する利用者のアセスメント					
3	安眠のための介護・不眠時の対応					
4	利用者の状態・状況に応じた安眠への留意点					
5	「死」とは・人生の意義と役割					
6	"					
7	「死」と社会・社会保障					
8	"					
9	介護施設における「終末期介護」					
10	"					
11	地域・在宅における「終末期介護」					
12	「死」の病態変化の観察と記録					
13	「終末期」の心理とケア・緩和ケアと悲嘆のケア					
14	「終末期介護」のチームケア・死後の対応					
15	まとめ					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		未定				
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 筆記試験・レポート・出席状況の総合評価			【履修上の留意点】			